

★ YACを知っていますか？

YACとは「Young Astronauts Club」の略で、日本宇宙少年団のことです。日本本部の団長は、日本人で始めてスペースシャトルに乗った毛利衛さん。世界中に組織があり、国際交流も盛んです。

宇宙劇場にはYACのさいたま支部の事務局があります。小学1年生から参加できるYACは、天体観測などの宇宙に関する活動だけでなく、化石を探しに行ったり集音器をつくったりと幅広いテーマで活動しています。

YACの入団お申し込み・お問合せはJACK大宮5階の宇宙劇場事務室まで。

宇宙劇場で働いている3人の方に お勧めの本を伺いました

おすすめ

糸賀館長

『アジアの星物語』

東アジア・太平洋地域の星と宇宙の神話・伝説

海部宣男／監修 柿田紀子・川本光子／邦訳 万葉舎
2014年

この本は、日本を含めた東アジア地域・太平洋地域の星と宇宙にまつわる神話、伝説を集めた本です。アジアの文化圏に根ざした神話、伝説は、どこか親しみやすさや懐かしさを感じるものもあるのではないのでしょうか。

カラーの挿絵も魅力的です。ぜひ一度、手にとってページをめくって見てください。

『天文学入門 カラー版』

岩波ジュニア新書

嶺重慎／編著 岩波書店 2005年

星を見て、宇宙に興味を持ったすべての人に読んでいただきたい本です。

今からおよそ137億年前に宇宙が誕生しました。そして、星が生まれ、その星が爆発して、また、新しい星が

生まれ・・・そうした繰り返しの後、太陽系が誕生し、地球上に生命が生まれ、やがて、人類が、そうして自分が生まれる。人と宇宙はつながっている。そんなことを教えてくれる本です。

おすすめ

高橋さん

『宇宙への秘密の鍵』

ルーシー・ホーキング／作 岩崎書店 2008年

ファンタジー小説は大好き！でも科学の本はちょっと苦手・・・そんな人におすすめの本です。

世界一優秀で、ちょっぴり生意気なコンピューター、“コスモス”に導かれて、宇宙冒険に出発しましょう！

ところどころにきれいな写真やイラスト付の解説ページも入っていて、冒険物語と宇宙の不思議が一緒に楽しめます。

『ロケットボーイズ』上・下

ホームー・ヒッカム・ジュニア／著 草思社 2000年

1957年10月、ソ連は世界初の人工衛星スプートニク1号を打ち上げました。スプートニク1号が空を横切るのを見上げたアメリカ人の少年は、仲間と一緒に自分たちの手でロケットを打ち上げようと奮闘します。

情熱のままに突き進む少年たちの姿にすっかり引き込まれてしまいます。そして、そんな彼らを見守り、励まし、力を貸してくれる大人たち。愛と笑いとナミダがいっぱい詰まった一冊です。

おすすめ

大友さん

『おまけのこ』

晶中恵／著 新潮社 2005年

妖（あやかし）が見える若旦那、一太郎と妖たちが難事件を解決する「しゃばけ」シリーズ第4弾。

今回は、家を軋ませる小鬼が、大好きな若旦那のためにがんばります。

さいたま市宇宙劇場

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2JACK大宮3階
TEL:048-647-0011 テレフォンサービス:048-641-1999
ホームページ: <http://www.ucyugeki.jp/>



入場料	種別	大人(高校生以上)	小人(4歳~中学生)
		プラネタリウム	610円
	超大型映画	610円	300円
	(注1) 障害者手帳をお持ちの方	300円	150円
	(注2) 団体利用	490円	240円



コーヒーで書かれている
若田さん自筆の書